

活動報告

すべての子どもに
チャイルドラインを！

知らない人だからこそ話せることがあるかもしれません。
あなたの近くの子どもにチャイルドラインを知らせてくだ
さいませんか。ぜひ事務局までご連絡ください。



フリーダイヤル: 0120-99-7777
毎日16時～21時(12月29日～1月3日休止)
夏の全国キャンペーン
8月22日～9月4日 15時～22時

チャットはHPから



チャイルドラインの4つのやくそく

- ヒミツは守るよ
- どんなことも一緒に考える
- 名まえは言わなくていい
- でんわ・チャットは途中でやめていい

厚生労働省補助事業

2026チャイルドライン全国キャンペーン
後援: こども家庭庁 文部科学省 総務省
主催: NPO法人チャイルドライン支援センター
TEL 03-5946-8500 <https://childline.or.jp>

▲子ども向け広報カード(2026)

フリーダイヤル、ネットでんわ、
オンラインチャット、つぶやく 実績報告

●フリーダイヤル ※NTTコミュニケーションズトラフィック調査ツールより

2025年10月～2026年1月	当期	前年同期比
発信数	122,453件	+23,142件
着信数	60,824件	+4,434件
着信率	49.7%	-9.8ポイント
平均通話時間	4分05秒	-42秒
総通話時間	4,128時間	+64時間

●ネットでんわ ※チャイルドラインアプリのシステムから自動集計

2025年10月～2026年1月	当期	前年同期比
発信数	387件	+81件
着信数	347件	+85件
着信率	89.3%	+6.7ポイント
平均通話時間	6分5秒	+2分38秒
総通話時間	12.0時間	-2.4時間

●オンラインチャット ※チャットシステムALBISのレポート解析結果
およびチャイルドラインデータベースより

2025年10月～2026年1月	当期	前年同期比
訪問人数	79,991件	+2,098件
書込件数	21,012件	+1,038件
対応件数	6,112件	+3件
対応率	29.5%	-2.2ポイント
平均対応時間	41分34秒	+2分32秒
対応時間	4,234時間	+194時間

●つぶやく

2025年10月～2026年1月	当期	前年同期比
投稿件数	6,663件	+330件

編集後記

◆世界中で不穏な空気が充満するなか、チャイルドラインには子どものさまざま不安な気持ちが届いています。チャイルドラインがミッションでめざしている「子どもの生きやすい社会」の実現のためには、まずはおとな一人ひとりが課題を認識し、手をつないでセーフティネットを整えなければと思います。(S.M)

特定非営利活動法人(認定NPO)

チャイルドライン
支援センター

ニュースレター

News Letter

vol. 152



18歳までの子どもがつながる
チャイルドライン®

巻頭言

チャイルドラインとすすめよう！

包括的性教育
Comprehensive Sexuality Education
推進キャンペーン

●子どもの声から伝わる性の悩み

チャイルドラインに寄せられた主訴でもっとも多いのは自分のこと、次に学校のこと、性のこと(約20%)と続きます。学校や家庭の話として聴き始めた場合でも、その相談の背景に性的な感情や行動が潜んでいる場合も多くあります。

「家族のことで」と話し始めた女子が、初潮がこないことを母親からなじられ責められると訴えたこともあれば、男子から「自分がイヤだ」で始まった会話が、母親と同じ年代の女性との性的関係を終わりにしたいが怖いという話になったこともあります。会話の中心は「学校に行きたくない」「親がウザい」であってもやり取りをするうちに性的なことが裏にあるときもあります。いずれも、性的な不安や悩みは相談しにくい現状を実感させられます。

性的な体験で、とくに屈辱的なことは人に言えない、何十年もたってようやく口にすることができた、という話を社会でも見聞きするようになりましたが、チャイルドラインに届く声は現実のほんの一部でしかなく、どれだけ多くの子どもが性に関する悩みを抱えているのだろうかと思わずにいられません。子どもたちが性について無知で、出所不明な情報に惑わされ誤解が多いのも、チャイルドラインの現場で感じることです。

●包括的性教育の推進を提言

昨今、子どもが性暴力に巻き込まれる報道が相次ぎ、ネットを介して子どもの性的画像が売買の対象になることも、子どもが性加害者になることも珍しくありません。これに対しSNS規制や厳罰化、監視強化の必要が言われ、日本版DBS*が今年12月から施行予定など、防犯対策

に目が向けられていますが、それで十分であるとは思えず、本当の意味での対策とも思えません。本質的な解決策はもっとポジティブな、教育的なことなのではないでしょうか。

包括的性教育は、人が自分も他者も尊重し、ここから健康に生きていくために必要な知識やスキルを、成長段階に応じて体系的に学ぶ教育であり、これこそが日本の教育に必要な学びなのではないか。そう考えて、2025年6月に実施したチャイルドライン支援議員連盟での勉強会において、包括的性教育の推進を求める提言書を提出しました。

*こども性暴力防止法(学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律)の通称。イギリスの「前歴開示・前歴者就業制限機構(Disclosure and Barring Service: DBS)」制度を参考に作られたため、日本版DBSとも呼ばれる。

●人や団体がつながり社会を動かそう

「チャイルドラインとすすめよう！包括的性教育推進キャンペーン」では、3つのアクションを提案しています。法制定にまで言及しているのは、それが算数や国語のように「だれでも必ず学ぶ」ことがあたりまえの社会をめざしているからです。「社会のしくみ」に位置づくには法律に定められることが必要です。そのために草の根のアクションを広げていきましょう。

チャイルドライン支援センター理事
政策提言委員長
包括的性教育推進キャンペーン
実行委員長

小松 久子



thank
you

ご支援・ご協力
ありがとうございます

子どもたちの生きやすい社会をめざし活動する
チャイルドラインへのご支援をこれからもよろしく
お願いいたします。

●2025年11月～2026年1月のご寄付総額
6,118,593円

ゆうちょ
銀行

振替口座 00120-5-425245
(019支店 当座0425245)
口座名 NPO法人チャイルドライン支援センター

※当団体は東京都の認定を受けています。ご寄付いただくと所得税や
法人税の控除を受けることができます。
(内閣府HP <https://www.npo-homepage.go.jp>)

Yahoo!
ネット
募金

募金サイト
[https://donation.yahoo.co.jp/
detail/5452001](https://donation.yahoo.co.jp/detail/5452001)



※Yahoo!ネット募金とは、さまざまな社会課題の
解決を目的にヤフー株式会社が運営する寄付の
ポータルサイトです。クレジットカードやTポイントによる寄付
に対応しています。



発行日 : 2026年3月31日

発行 : 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター(認定NPO)

〒162-0808 東京都新宿区天神町14神楽坂藤井ビル5階 TEL: 03-5946-8500 FAX: 03-5946-8501

URL: <https://www.childline.or.jp/> E-mail: info@childline.or.jp



開催
報告

キックオフイベント 報告

包括的性教育推進キャンペーン始動！

包括的性教育推進キャンペーン

聴くことから
はじまる

子どもの声から
行動へ

開催しました
2026年
2月11日(水)
14時～16時

チャイルドラインとすすめよう！

包括的性教育推進キャンペーン

賛同団体・賛同者募集中！

Action1 すべての子どもに性の学びを

Action2 おとも知ろう「包括的性教育」

Action3 「包括的性教育推進法」をつくらう

子どもを被害者にも加害者にもしないために
人権としての「包括的性教育」があたりまえにある社会をめざして

期間にあたって

別途規定の「チャイルドライン」をこ
ろくください。本キャンペーン推
進のためにご協力をお願いします。

【問い合わせ先】
1730007651(TEL)
Eメール: info@childline.jp
認定NPO法人チャイルドライン支援センター
TEL 03-5946-8500
Email: info@childline.jp

包括的性教育 (Comprehensive Sexuality Education: CSE) ……子どもたちの将来の人生に被害や苦し、被害を被ることは
ないよう、心身の健康と安全を確保し、人権に基いた行動を促すための教育です。性教育推進法、CSE法により、
人権・健康・関係性などを含む「人権教育に基いた教育」の一環として実施されます。

開会あいさつ

NPO法人チャイルドライン
支援センター代表理事 **平井貴美子**

ご参加いただきありがとうございます。チャイルドラインとすすめよう！包括的性教育推進キャンペーン」には、昨日（2026年2月10日）現在、44団体、36個人、合計80名の方にご賛同いただき、みなさまとともに、進めていくこととなりました。みなさまのお気持ちに感謝の意を表したいと思います。

この度、チャイルドラインは一步踏み出しました。子どもたちの未来、権利が守られる社会を作れることを信じて動いていきます。長い道のりになるかもしれませんが、今日をきっかけに大人たちが支援の輪を広げ、子どもたちの権利が守られる社会が実現するまでやり抜く所存です。支援の輪を広げ、ぜひチャイルドラインと一緒に歩んでいただきたいと思います。



キャンペーン趣旨説明

実行委員会委員長 **小松久子**

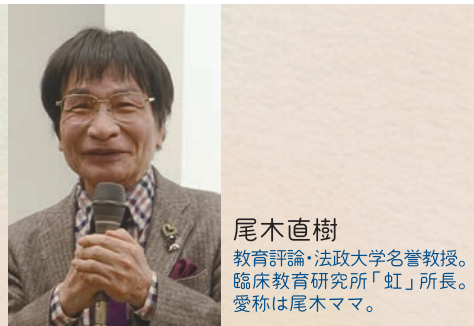
チャイルドラインのミッションは、子どもの権利条約を理念に、子どもの声を受けとめ、ありのままの心の居場所をつくること、そして受けとめた声を社会に発信し、子どもが生きやすい社会を目指すことです。届く子どもの声からは、性について悩み、性に傷ついている様子が伺えます。生きづらさを抱え、希死念慮をもつ子どももいます。今の性教育では不十分であり、国際セクシャリティ教育ガイダンスに基づく包括的性教育の必要性があると考えます。全国の賛同する団体、個人とつながり行動を起こそうというのがこのキャンペーンの趣旨です。目指しているのは、性教育が当たり前であり、多様性を受け入れ、自分も他者も尊重し合える社会です。ぜひともに行動を起こしていきましょう。



応援メッセージ

賛同者代表 **尾木直樹さん**

このキックオフイベントに参加して、「さあ、やれるぞ」という気持ちになってきました。チャイルドラインのすばらしさは子どもたちの声を土台に、子どもとともに歩もうとしていて、それがチャイルドラインの強みです。人間関係のありかた、人権教育、心がいきる性教育が示されている包括的性教育が重要であり、今こそ求められています。子どもの声を土台にして子どもたちを守りたいです。子どもの権利条約の「生きる権利」「守られる権利」「表現する権利」「参加する権利」を大切にしながら、そして、子どもたちの声に励ましをもらいながら、一緒にやっていけばいいなと思っています。ともに頑張りましょう。



パネルディスカッション

「性」に悩む子どもに、いま必要なこと

～包括的性教育を、学校・家庭・地域に～

性教育に関して
今、感じていること

小松 子どもたちが性に悩み傷ついていて、届く声は氷山の一角です。SNSが性被害・性加害の媒体になることが増え、誤った情報や悪意ある大人との接触、犯罪に巻き込まれることも懸念しています。チャイルドラインに辿り着いてほしいです。包括的性教育は正しい知識が身につき、自分を誇れるようになり、人に優しくなる力につながると思います。

金子 トー横や「たちんぼ」など、子どものまわりには金銭的な誘惑があり、見つけたと思った居場所が居心地のよい居場所とは限りません。性暴力、性的いじめ、セクハラは見えにくく「遊び」にすり替えられることもあります。相談したくても不安な大人には相談できない子どもがいます。性虐待を受けた子どもが体験を上書きしたい思いで性に近づくこともあり、科学的に伝えるために大人の知識が必要です。国際セクシャリティ教育ガイダンスでも、人間関係が土台だと考えています。

木村 弁護士として七生養護学校事件に関わり、性教育をすることに萎縮していく10年間がありました。自分がそのままで認められる自己肯定感を育むことはとても大事で、性という関係がなくても人としてきちんと扱われる経験を積んでいくことが必要だと思っています。いろいろな選択肢が示される中から選んでいけることが大事だと七生から学びました。大人たちがこうあってほしいということではなく、子どもたちが何を知りたいのか、何に困っているのかに具体的に応えていくことが大事だと思っています。

チャイルドラインが考えている
包括的性教育について

小松 心と体の教育が包括的性教育です。国際セクシャリティ教育ガイダンスに基づき、科学的根拠のもと、年齢・発達段階に応じて段階的に学び、感情、人間関係、価値観、社会的背景なども含みます。一見関係ないように思える学びも含め、時間をかけて提供していく内容です。誰にとってもマイナス面がないのが包括的性教育だと思っています。

包括的性教育をすることで期待できる
子どもたちの変化、効果

金子 学校に行けない子や、児童養護施設、少年院なども含め、教育・福祉などあらゆる場面で、すべての若者に包括的性教育が必要です。国際セクシャリティ教育ガイダンスは子どもを信用しており、学ぶと子どもは慎重になることが実証的にわかっています。

木村 科学と人権がキーワードで、正しい知識をきちんと教える必要があります。人に大切にされる経験や人を大切にせる経験が自信につながり、自分は大切な存在だと感じられる環境を大人がどう作るのが問われています。

性と人権がまだまだ結びついていない、
大人に対して思うこと

金子 家庭の中でのハラスメント、教育虐待がある実態があり、社会全体で性教育を行うことが大事です。社会のありよう、政治や教育のありようも考えないといけません。

木村 相手の性を消費してはいけません。支配は愛ではありません。対等に扱われていない関係性があれば離脱してよいのです。リスペクトし合う関係を大人が学び、実践していくことが大事です。まずは大人が学ぶことが必要だと思います。

小松 子どもの知りたいニーズに応えることは子どもの権利を保障することです。すべての子どもが包括的性教育を受けられる仕組みを社会として作っていくことが大事です。生命の安全教育に性的同意というキーワードが入ったことは前進で、声をあげ続けるのは大人の責任でもあります。

(以上、敬称略)



閉会あいさつ

実行委員会委員長 **小松久子**

包括的性教育を進めるためには法律で根拠づけることが必要です。包括的性教育推進法を作りたいと考えています。性教育があたりまえにあり、すべての子どもが尊重され、多様性が認められる社会を作っていくために行動を始めましょう。



登壇者

小松久子さん
包括的性教育推進キャン
ペーン実行委員会委員長・
NPO法人チャイルドライン
支援センター理事



登壇者

木村真実さん
弁護士・NPO法人八王子
チャイルドライン代表



登壇者

金子由美子さん
認定NPO法人さいたまユース
サポートネット副代表・
NPO法人チャイルドライン
支援センター理事



進行

関戸真紀
NPO法人チャイルドライン
支援センター専務理事